

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はれのね にこ 赤羽志茂教室		
○保護者評価実施期間	2024年 11月1 日		～ 2024年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 5名	(回答者数)	
○従業者評価実施期間	2024年 11月1 日		～ 2024年11月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 4名	(回答者数)	
○訪問先施設評価実施期間	2024年 11月1 日		～ 2024年11月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数) 3施設	(回答数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等訪問支援については、こどもの事を充分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられているという項目は、全員「はい」という回答だったので、今後も変化していく子供の特性を理解し、支援していくようにしたいと思う。	児童発達支援での様子をお伝えし、園での子供の様子を見学させていただき、担任の先生と子供だけではなく、保護者の方の要望も情報を共有している。 また、児童発達支援事業所で取り入れた方がよい支援をお聞きし、取り入れて行く事を行っている。	今後も、情報を共有し、出来るならば、関わっている関係機関での話し合いの時間を設けていきたい。 保育所等訪問支援に行き、見学をした時の課題を事業所に持ち帰り、支援をし、成長する姿が見られるので、これからも続けていきたい。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援の具体的な内容、ペアレントとレーニング、相談事への対応、訪問先との連携については、どちらともいえない、いいえ、わからないという回答が見られたので、今後は、この点についても支援をしっかりと行っていきたい。	訪問へ行った時の事は、訪問に行った職員が直接話をしているが、当日の報告は、連絡帳代わりのシステムに簡単な文章を送るだけになってしまっていることも要員の一つになっていると思う。	今後は、連絡帳以外にも、文書化し明確なものを保護者の方に提示できるようにしていければと思う。
2	研修について、毎月研修は行っているが、児童発達支援の研修に重きをおいているので、今後は、保育所等訪問支に関しての研修も行っていきたい。	保育所等訪問支援については、それぞれの訪問先の考え方もあり、どのような方法が適しているのかを考えながら行っているが、どこまで介入したら良いのかという職員の悩みもあるので、そのあたりが課題となっていると思う。	保育所等訪問支援の方法については、園の先生とよく話し合い、方向性を決めていきたい。 また、他の事業所の保育所等訪問支援について、一緒に研修を行う事が出来れば行いたい。
3			